



松江市八束町大塚山は、標高42mで大根島のなかで最も高いところです。凡そ20万年前の火山噴火でできたのが大根島。大塚山はその火口丘です。今では、大塚山公園として市民に親しまれています。3月初め公園の河津桜が満開を迎えていました。

## C O N T E N T S

2	会長挨拶・平成29年度事業方針及び予算
4	平成29年度人材育成研修計画
4	活動報告
7	会員名簿
8	会員社紹介・事務局から

# 会 | 長 | 挨拶

2017年も第一クォーターが過ぎようとしており、多くの会員企業では、年度の切り替わる時期を迎えていることと思います。4月には新入社員を迎え入れる企業も多いことと察しますが、このところ採用難が続いており、計画通りに採用できた企業は少ないと感じています。

我々の業界、情報産業はソフトウェア開発を中心に需要が拡大して来ています。大都市圏では、ほとんどの業種で活発な採用であり、中小のソフトウェア企業では一層困難な採用活動となっています。それではとオフショア開発にシフトする取引先が増加する傾向は、この十数年同じようなサイクルで繰り返していると思います。オフショア開発が簡単ではないことは、既知となっていますが、しかし、何度かの失敗やトラブルを乗り越えて確実に拡大しています。少なくとも、2020年までソフトウェア開発の需要は続くと予想されており、採用難も続き、オフショア開発も一層拡大します。

その先はどうなるか？

誰もこうなると言う人はいません。製造業のように海外シフトが加速し、国内の空洞化が進むのか。PCの登場・インターネットの普及・スマホなどモバイルの活用のように、ITの新たなイノベーションが始まるのか。あるいは、今の延長線上で拡大と縮小を繰り返しながら進むのか。少なくとも、どのような変化にも対応できる準備はしておきたいものです。

“人材育成”と“顧客の拡大”、新年度も島根県情報産業協会は、行政と力を合わせて、みなさまのご支援をしていきたいと考えていますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。



一般社団法人  
島根県情報産業協会  
会長 吉岡 宏

**新年度事業計画・予算が決まる！** 平成29年3月8日付の書面理事会で、平成29年度の協会の事業方針と予算を決定しました。その内容は、以下のとおりです。

## 平成29年度 事業計画・予算

(平成29年度事業実施方針)

我が国経済は、長いデフレによる経済低迷を脱しつつあるなか、深刻化しつつある中国などの途上国経済の悪化により、不確実性を増している。

島根県の情報産業は、この数年着実な成長を遂げている。県内各産業の動向と比較して、情報産業の成長には特筆すべきものがある。売上額など産業としての規模はまだまだ小さいながらも、すでに農林水産業のそれを超え、各産業分野のなかで、ずば抜けた成長力をみせている。また、雇用面でも、毎年100名近くの有能な人材の新たな雇用の受け皿として注目されている。マイナンバー制度の導入や、各産業の高

度化のためにIT活用が求められるなか、地域社会で情報産業が担うべき役割は、ますます増加している。

こうしたなか、(一社)島根県情報産業協会は、協会創立以来の理念である情報関連技術の開発及び利用を一層促進するため、会員相互交流の機会を多々設けるとともに、情報関連技術に関する研修を引き続き協会活動の主な柱にして取り組んでいく。その際、行政との連携を密接にして取り組む。

行政に対する積極的な協力を行うことにより、施策の実施が情報産業界にとり効果的なものになるように努める。施策提言活動を強化する。また、ソフト系IT産業支援に関する情報の収集に努め、会員へ適時適切な提供を行う。

情報産業を担う人材確保の競争が熾烈になっている今、その確保は、焦眉の課題である。そのため、行政関連団体が行う関連施策の積極的な利用のほか、協会としても、高等教育機関と連携しながら、学生へのガイダンスを実施する。併せて、情報産業界の実像について広く理解をはかるための取り組みを行政との連携や新たに業界独自に取り組むこととする。

会員相互交流に関しては、各種講演会開催を引き続き主催することにより、交流機会の確保に努めるとともに、協会各委員会活動を会員交流の場と位置づけ、その活動を活性化させる。

平成29年度の人材育成研修については、21講座を開催する。

### 平成29年度当初予算 (正味財産増減表形式)

単位：千円

区分	前期当初 予算額	H29予算額			会計間調整	合計	増減 (当初比)
		一般会計	JISA特別会計	人材育成特別会計			
経常収入	会費収入	4,698	5,058			5,058	360
	特別会費	980	980			980	0
	広告収入	0				0	0
	県受取補助金	6,000			6,000	6,000	0
	受取交付金	170		300		300	130
	受講料収入	6,255			6,298	6,298	43
	繰入金収入	0	400		706	0	0
	雑収入	500	500			500	0
	計	18,603	6,938	300	13,004	▲ 1,106	19,136
経常費用	会議費	1,400	1,500			1,500	100
	情報交流事業費	510	510			510	0
	高度化事業	470		300		300	▲ 170
	普及啓発費	430	430			430	0
	人材育成費	9,802			10,445	10,445	643
	事務管理費	7,239	4,531		2,159	6,690	▲ 549
	繰出金	0	706		400	0	0
	予備費	252	742			742	490
	計	20,103	8,419	300	13,004	▲ 1,106	20,617
当期増減	▲ 1,500	▲ 1,481	0	0	0	▲ 1,481	19
前期繰越金	3,184	3,588				3,588	404
うち特定資産	1,684	2,312				2,312	628
翌期繰越金	1,684	2,106	0	0	0	2,106	422
うち特定資産	1,684	2,106				2,106	422

#### 人材育成基金の見込 (特定資産)

H27 末現在高	H28			H29		
	取崩	積立	期末	取崩	積立	期末
1,584	372	1,000	2,212	706	500	2,006

## 平成29年度人材育成研修計画

平成29年度の人材育成研修については、2月23日に人材育成委員会（吉岡委員長・北村主査）を開催し、次のとおり、開催研修講座を決定しました。開催時期未定の講座については、決まり次第、お知らせします。なお、協会が行うこの研修は、鳥根県補助事業のため、受講料は格安となっています。

期間	講座名	計画人数	受講料
5/18-5/19	情報セキュリティ対策実践シリーズ 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編	5名	53,300円
5/24-5/26	Ruby/Rails入門	5名	48,100円
6/1-6/2	相手に伝わる！ビジネス文書の極意～論理的な文書の組み立て方～	8名	55,800円
6/16	プロジェクトリーダーのための心理学～基礎編～	6名	42,900円
6/21-6/23	Rails5実践開発 (1)	4名	48,100円
6/30	アサーティブ・コミュニケーション～言いにくいことを上手く言うための基本スキル～	6名	39,100円
7/4-7/5	jQueryによるWebアプリケーション開発	6名	46,700円
7月中	プロジェクトマネジメントの基礎【出雲会場】	6名	35,000円
7/20-7/21	ネットワークの基礎	7名	38,700円
7/26-7/28	Rails5実践開発 (2)	6名	48,100円
9/5-9/6	Web技術者のためのHTML5 APIプログラミング	5名	46,800円
9/11-9/13	システム基盤構築・実践トレーニング～Webシステム構築～	6名	78,600円
9/19-9/20	業務分析設計概説～システム開発における要件定義のまとめ方～	6名	57,200円
10/5-10/16	プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎	6名	55,900円
10/12-10/13	プロジェクトマネジメントの技法	5名	55,900円
10/18-10/19	ビジネスリーダーの考動実践ワークショップ1～障壁の突破と仕事の付加価値創出～	7名	65,000円
10/30-10/31	プロジェクトの実行とコントロール	5名	68,300円
11/9-11/10	SEに求められるヒアリングスキル-効果的な顧客要件の聞き取り-	8名	56,300円
11/1-11/14	基礎から学ぶシステム運用管理・実践トレーニング～障害管理、変更管理、SLAなど～	6名	45,300円
11/29-11/30	システム品質マネジメント	8名	43,600円
11/1-11/2	Ruby World Conference 2017	40名	2,000円

## 情産協活動報告



### 1 平成28年度地域情報化月間講演会開催 2016年10月26日開催



井上副会長

協会主催平成28年度地域情報化月間講演会を、61名の参加のもと、10月26日松江エクセルホテル東急で開催しました。

井上浩代表理事副会長の挨拶後、講演会を開催しました。今回は、「サイバーセキュリティの脅威と対策」と題し、鳥根県警察本部生活安全部生活環境課サイバー対策室情報技術管理官達家卓也氏に講演をして頂きました。

サイバー犯罪の現状について、2010年ごろをターニングポイントとして、ネットサービスが向上し、ネットの世界に金・情報が載るようになり、これを狙ったサイバー犯罪が右肩上がり増加していること、最近では、対策が弱い地方の中小金融機関が狙われている現状の説明がありました。

対策と犯罪はいたちごっこ状況であり、2016年からはランサムウェアという身代金要求型のサイバー犯罪も出始めたとのこと。また、犯罪インフラとして、メールやファイルを偽装する闇サイトがあり、捜査を極めて困難にしている状況があると指摘がありました。

この対策として、被害を受けたとしてもその被害を最小化する対策をとることを強調されました。情報の棚卸を行い、厳重に守るべき情報とそうでないものをまず整理すること。そのうえで、セキュリティソフトの導入等犯罪者の犯罪コストが高くなる対策をとる、OS、ソフト

達家管理官

等を最新のものとしてぜい弱性を最小化する、心のスキをつくらないこと、バックアップをとることを指摘され、特に経営層のサイバーセキュリティの重要性認識を訴えられました。

県内中小企業対策としては、8月1日商工3団体・県・県警等で協定を締結、ネットワークを作り情報の共有、24時間対応の相談窓口の開設が報告されました。なお、民間サイドで対応すべき事柄については協会も協力することにしています。

講演終了後、33名が参加し、鳥根県商工労働部産業振興課長馬庭正人氏のご発声により交流会を開催しました。席上、今回新たに代表に就任された(株)シーエスエー代表取締役社長和田正志氏、同じく代表に就任されたソフト産業ビジネス研究会会員であるいずもトータルネット(株)若槻等氏にご挨拶を受け、出席者の交流を深めました。交流会は、情産協理事福光靖地域情報化委員長の中締めの挨拶で散会しました。



馬庭課長

## 2 平成29年新年会開催

2017年2月1日開催

2月1日松江エクセルホテル東急で鳥根県情報産業協会新年会を開催しました。今回の新年会には、会員のほか、国・県・市など関係者の皆さん70余名が参加しました。

冒頭挨拶で、吉岡宏代表理事会長は、県内IT業界の技術者不足に触れるとともに、魅力ある業界づくりに注力することを力強く訴えました。また、Ruby City Matsueを掲げ、中学校全校でのプログラミング教育を開始した松江市の取組に期待を寄せ、松浦松江市政支援の決意を述べました。

新年会第1部の講演会では、松浦正敬松江市長に「選ばれるまち・松江の実現へ」と題して、講演を頂きました。松浦市長は、50年度の人口が13万人に予想される中、市政総合戦略で、これを18万人に何とかとどめるため、年間270名の社会増の目標を掲げたこと、この実現方策として、若者の定着のため、生活環境の改善と雇用の確保が鍵だと述べられました。なかでも、雇用確保で、制度的には、東京一極集中から地方分散へ、産業論として地産地消による地域内循環の確立をあげ、生産重視の農林水産業から、消費者を見据えた農林水産業振興を強調されました。この計画実現に向け、最初の4年間が大切であることから、全力を挙げて取り組むとの強い思いを披歴されました。



吉岡会長



松浦松江市長



堀内総合通信局課長



大原経済産業局部長



美濃県室長



山崎理事長

第2部交流会は、石崎修二副会長の開宴の挨拶の後、来賓の方々を代表して、堀内和弘総務省中国総合通信局情報通信課長、大原晃洋経済産業省中国経済産業局地域経済部長、美濃亨鳥根県商工労働部情報産業振興室長の各氏にご挨拶を頂きました。

山崎征爾公益財団法人しまね産業振興財団代表理事理事長の乾杯のご発声により交流会は開宴しました。交流会では、協会入会を申し込んでいる(株)セントラル情報センターから堀口義博鳥根営業所副所長に挨拶を頂きました。

交流会では、出雲市を中心に、松江市、雲南市の社会人でつくられたアマチュアジャズバンド「バードジャズオーケストラ」に生演奏を今回お願いしました。アンコールを含め、合計八曲のスウィング感溢れる演奏で、交流会を盛り上げて頂きました。

これまでとは一味違う趣向もあり、あっという間に時間は過ぎ、井上浩副会長の挨拶で交流会は閉宴となりました。



バードジャズオーケストラ演奏

2017年1月13日開催

情報系を専攻する松江高専学生を対象に企業ガイダンス「島根のIT企業の今2017」を1月13日くにびきメッセ大展示場を会場に開催しました。



学生は、各社ブースを廻り、熱心に各社の状況を聞き取っていました。進学する学生が多勢ですが、島根のIT企業を将来選択する有力な動機づけとなることを期待しています。

ガイダンス会場の設定・撤去では、多くの参加企業・学生の皆さんのご協力のおかげでスピーディに行うことができました。

2016年11月26日開催

当協会親睦ゴルフコンペが11月26日(土)、玉造温泉カントリークラブにて16社29名参加のもと開催されました。



入賞の皆さん

また、下記のとおり多数の企業様から協賛をいただき、ドラコン賞、ニアピン賞をはじめ、多数の賞品を用意することができ、盛大に表彰式も行うことができました。

- 優勝 上村英暢 (アキュートシスコム)
2位 室脇俊二 (テクノプロジェクト)
3位 戸谷弘明 (ティーエスケイ情報システム)
ベスト賞 権田敏郎 (島根電工 (スコア89))

【ご協賛各社】 表示は企業名50音順とさせていただきます

- アキュートシスコム様 ティーエスケイ情報システム様
エネルギー・コミュニケーションズ様 テクノプロジェクト様
オネスト様 ネットワーク応用通信研究所様
JECC様 富士通様
島根情報処理センター様 マツケイ様
島根電工様 両備システムズ様
ダイワボウ情報システム様 たくさんのご協賛ありがとうございました!!



ご参加いただきました皆様

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 主催の「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール2016」で、全国賞・地域賞 (島根県情報産業協会賞) として、次の方が選出されました。

- 全国優秀賞 標語部門 県立松江商業高等学校 3年 吉岡 類さん
ポスター部門 松江市立第四中学校 2年 坂本 めいさん
地域賞 標語部門 美郷町立邑智中学校 3年 井上 暢倭さん
ポスター部門 松江市立第四中学校 2年 坂本 めいさん
四コマ漫画部門 県立浜田商業高等学校 3年 伊東 咲耶さん・山藤 英理紗さん

受賞作品は、次のサイトにあります。https://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/
または、「IPA コンクール」で検索してください。

Table with columns: 会社名, 役職名, 代表者, 住所, 電話. Includes member lists for regular members and support members with their respective roles and contact information.

(理): 理事 (監): 監事

(注) 塗りつぶしは新たに掲載する会員社

## (株)イーウェル 松江オペレーションセンター

島根県松江市玉湯町布志名767-31  
代表取締役社長 藤田 玲  
TEL 0852-60-0511 FAX 0852-60-0514

当社は、東急グループの一員として2000年に創業しました(本社東京)。「企業と従業員が共に成長していける新たなサービスや仕組みを創ること」を使命に、福利厚生・健康経営に関する豊富なノウハウを生かした、コンサルティング、アウトソーシングサービスを提供しています。

福利厚生サービス事業は300万人を超える会員規模を誇ります。その会員様からの各種申し込みの事務処理やデータ管理を行う拠点として、2011年に松江、2015年には米子に、それぞれ最大400名が従事できるオペレーションセンターを開設。内装・環境など、従業員にとって快適で、生産性の高いオフィスを目指しています。

～「あったらいいな」から「なくてはならない」サービスへ～

私たちは、福利厚生・健康経営・マーケティングなど、様々なシーンの課題解決を通じて、一人ひとりの”しあわせ”と”安心”をサポートし、企業ひいては社会の活性化に貢献します。



## セコム山陰(株)

島根県松江市北陵町34  
代表取締役社長 佐藤 陽一  
TEL 0852-23-6000 FAX 0852-23-8800

セコムと言えば警備業のイメージがあると思いますが、当社は1995年にスタートしたISP事業から情報系事業を開始しました。

当社の情報系事業は松江/鳥取の自社データセンターを中心としたクラウドサービスの他、お客様のニーズに合わせたサーバ/ネットワーク構築・運用を行っています。防災情報の携帯・スマートフォンへの高速配信、非常時に社員/職員の安否確認を迅速に行える「リアルタイムエクスプレスメール」は、県内外の自治体、企業、病院など様々なお客様にご利用頂いております。また事業継続計画

(BCP) 策定支援やITコンサルティングを通じて、お客様のリスク低減のお手伝いもしています。弊社は女性にも働きやすい職場環境を提供するため、様々な育児/介護/休暇制度を持っています。オフの時は思いっきり遊び、オンの際は集中して働く、メリハリのある職場で、社員全員がそれぞれの得意分野を伸ばせる職場を目指しています。



事務局  
から

3月に入り、あちらこちらで、梅や桜の開花の便りが聞かれるようになりました。今年の啓蟄の日は3月5日。啓蟄といえば、樹木に冬の間まかれていた藁菰がこの日取り外されます。最近ではあまり見かけなくなった風情のひとつになってしまいました。